

第87回
定期演奏会

1975年6月7日(土)
6:00PM

神田共立講堂

明治大学ハーモニカソサエティー



部長
北島忠男

昨年来のインフレ・不況は、今春大学を巣立った卒業生にも波及し、就職採用取消しや自宅待機などの憂慮すべき事態をも招きました。また、今年就職戦線も実業界と大学の間で就職試験開始時期をめぐる意見の相違が生れるなど、経済的に不安定な状況は未だ継続しております。

われわれの大学でも、この春から大幅な授業料値上げが実施され、昨年暮から今年初めにかけては学校閉鎖が行われ、レポートによる卒業・進級試験にきりかえられるなど、異常な事態がありました。

われわれ明治大学ハーモニカ・ソサエティーをかこむ諸環境は、このように好調とはいえませんが、今年も、緑におおわれた初夏の装いのなかに、春の定期演奏会を開催するはこびとなりました。学業の傍ら、音楽演奏に精進し、激しくうつろい行く世の中に、ともしれば失われようとする情操の涵養につとめて来た成果を、ここにご披露する機会を得たわけです。関係者一同ここにご来場の皆様と共に、初夏のひと刻を楽しく過したいと存じております。心から暖かいご声援をお願い申し上げます。(北島忠男)

さわやかな若葉の季節に貴明治大学ハーモニカ・ソサエティーが、ここ神田共立講堂におきまして第87回定期演奏会を開催されますことを、我々明治大学マンドリン倶楽部部員一同心よりお慶び申し上げます。我々は日頃より多くのジャンルの音楽に取りくまれ、観客を満足させる貴クラブの音楽の姿勢を見るなり、そこに昔から培われてきた伝統といったようなものを感じます。今宵もその伝統を十分に発揮されることを期待いたします。

最後に今回の演奏会が成功裡に終了されることをお祈りしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

明治大学マンドリン倶楽部

光は若葉にするどく、歩道をゆく影は夏へのいざない。そんな今宵、明治大学ハーモニカ・ソサエティー第87回定期演奏会が催されるにあたり、我々四大学ハーモニカ・ソサエティーを代表致しまして、心からお祝い申し上げます。毎年6月下旬に開かれます明・中・立・早四大学ハーモニカ演奏会における貴大学の常にハイセンスな演奏内容、また春秋年二回にわたる定期演奏会に代表される充実した演奏活動に、仲間でありかつ良きライバルでもかる我々は学ぶところが少なくありません。共に、ハーモニカによる新たな音楽分野の更なる開拓をめざそうではありませんか。

今夜の演奏会が楽しくかつエキサイティングなものとなり、貴ソサエティーが今後ますます発展されることを祈ってやみません。文責・伊藤(早稲田)

中央大学ハーモニカ・ソサエティー
立教大学ハーモニカ・ソサエティー
早稲田大学ハーモニカ・ソサエティー

紫陽花が一段と美しさを増すこの頃、今宵は私達明治大学ハーモニカ・ソサエティー第87回定期演奏会によろこ御来場下さいました。

音楽は時代の流れと共に変化すると言われますが、最近では時代の流れを反映してか、ソウル・ロックといったものが主流をなしているように思われます。今回はそのソウルの曲なども取り入れ、全体を通してハーモニカの新しい一面をお聞き頂き、併せてゲストにお迎えいたしました小沢昭一さんと共に楽しい一時をお過ごし頂きたいと思っております。

春を迎え当ソサエティーにおきまして、今年も大量の新入部員を迎え、連日の練習に励んでまいりましたが、何分にも勉学の合間の練習ですので皆様に御満足頂けないかと思っておりますが、学生らしく精一杯演奏致しますので終演までごゆっくりお楽しみ下さい。

最後に御指導、御鞭撻下さいました各方面の方々に心からお礼申し上げます。

明治大学ハーモニカ・ソサエティー
部員一同

